

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	37行目
事業名	縦断方向の河川形状の修復の 検討 (魚類の遡上・降下)		河川名	木津川上流 (内牧川)		
府 県	奈良県	市町村	榛原町	地先	桧牧	

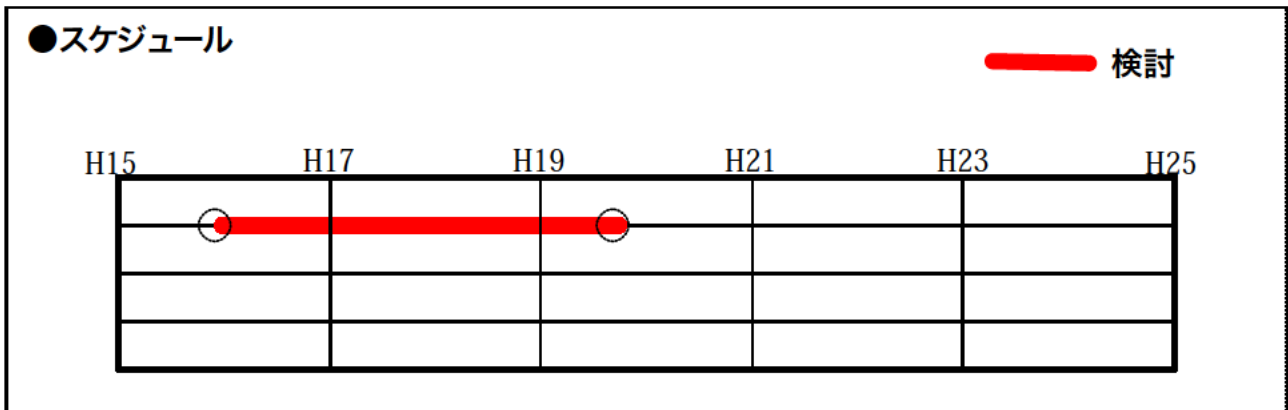
●現状の課題
ダム・堰等の横断工作物により縦断方向(山～川・湖～海)に不連続となっている。

●河川整備の方針
縦断方向においては、生物の遡上や降下が容易にできる河川横断工作物の改築・新設を検討する。

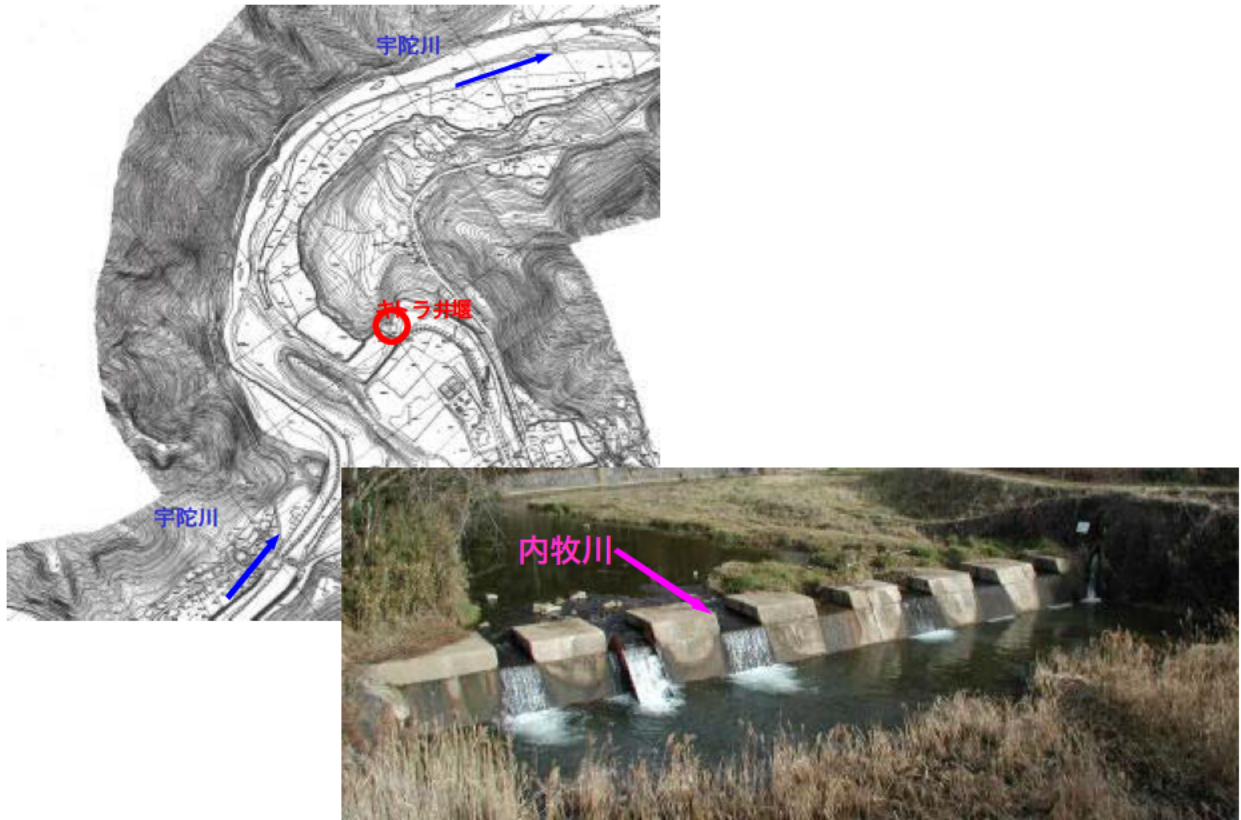


●具体的な整備内容
現状の井堰、落差工などにおける魚類の遡上・降下に配慮した構造改善の検討

検討内容
 該当個所での河川環境の現況調査
 対象となる魚類、植物等の選定、生息環境の検討など)
 ・魚類の移動・分布からみた現況施設形状検討 (機能性、維持管理、将来予測等)
 【施設管理者】甲寅用水水利組合

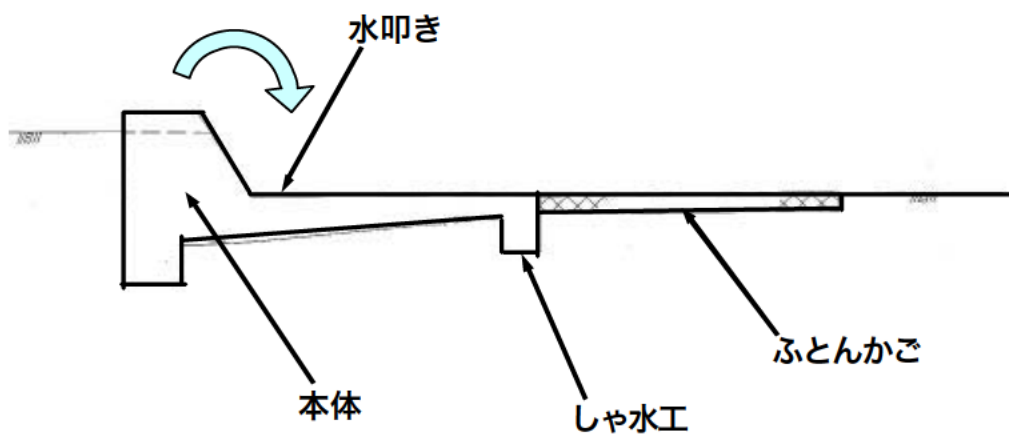


●平面図 現況写真



●横断図

魚道の有無	魚道の形状
無し	高低差 1.7mの落差がある。



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	37行目
事業名	縦断方向の河川形状の修復の 検討 (魚類の遡上・降下)		河川名	木津川上流 (宇陀川)		
府 県	三重県	市町村	名張市	地先	安部田	

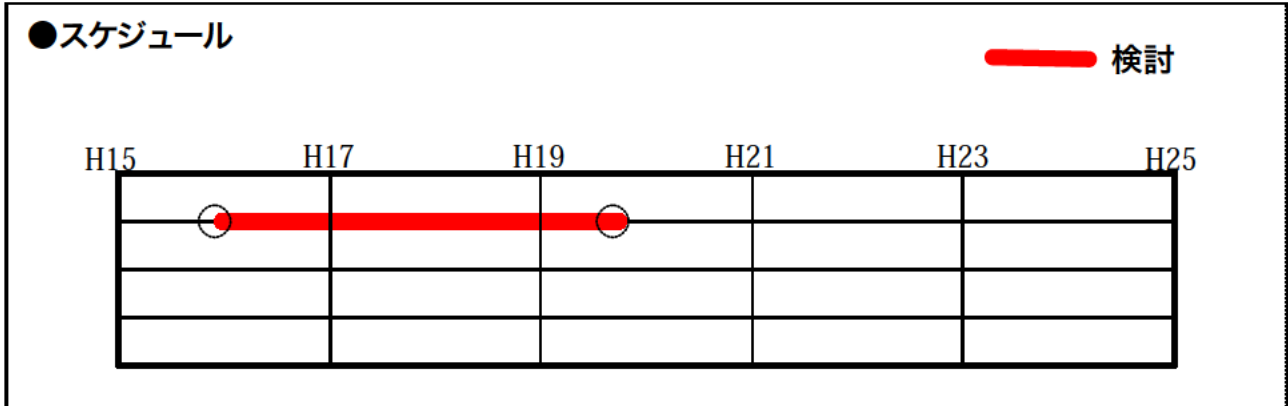
●現状の課題
ダム・堰等の横断工作物により縦断方向(山～川・湖～海)に不連続となっている。

●河川整備の方針
縦断方向においては、生物の遡上や降下が容易にできる河川横断工作物の改築・新設を検討する。

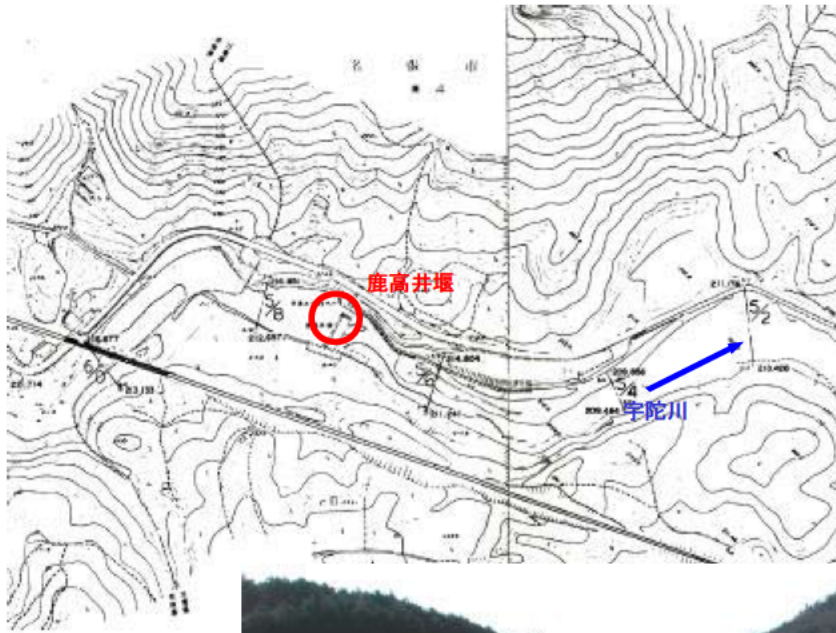


●具体的な整備内容
現状の井堰、落差工などにおける魚類の遡上・降下に配慮した構造改善の検討

●検討内容
 該当個所での河川環境の現況調査
 対象となる魚類、植物等の選定、生息環境の検討など)
 ・魚類の移動・分布からみた現況施設形状検討 (機能性、維持管理、将来予測等)
 【施設管理者】宇陀川用水改良区

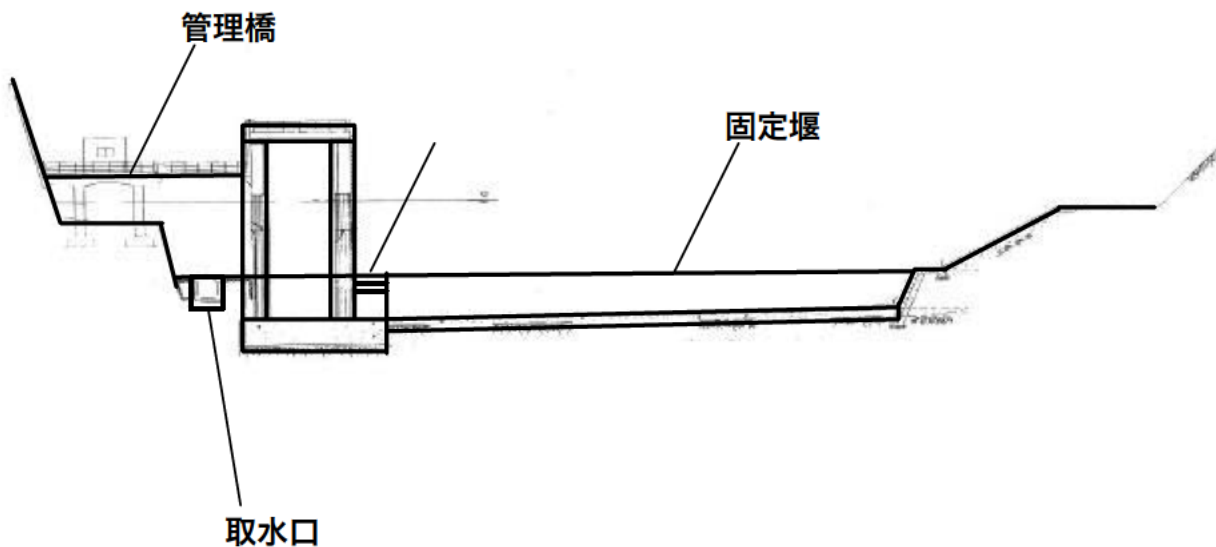


●平面図 現況写真



●横断図

魚道の有無	魚道の形状
有	落差0.3mの魚道がある。



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	37行目
事業名	縦断方向の河川形状の修復の検討 (魚類の遡上・降下)		河川名	木津川上流 (木津川)		
府 県	京都府	市町村	南山城村	地先	大河原	

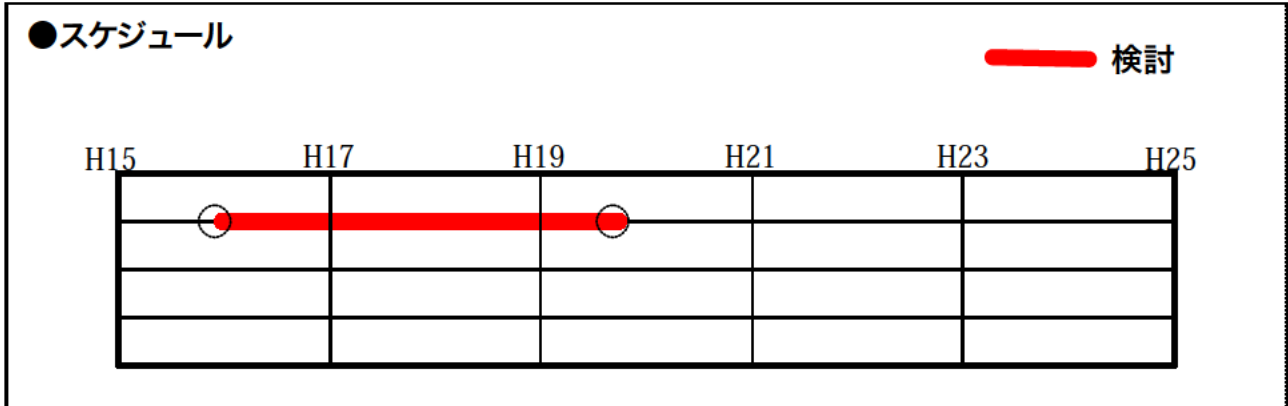
●現状の課題
ダム・堰等の横断工作物により縦断方向(山～川・湖～海)に不連続となっている。

●河川整備の方針
縦断方向においては、生物の遡上や降下が容易にできる河川横断工作物の改築・新設を検討する。

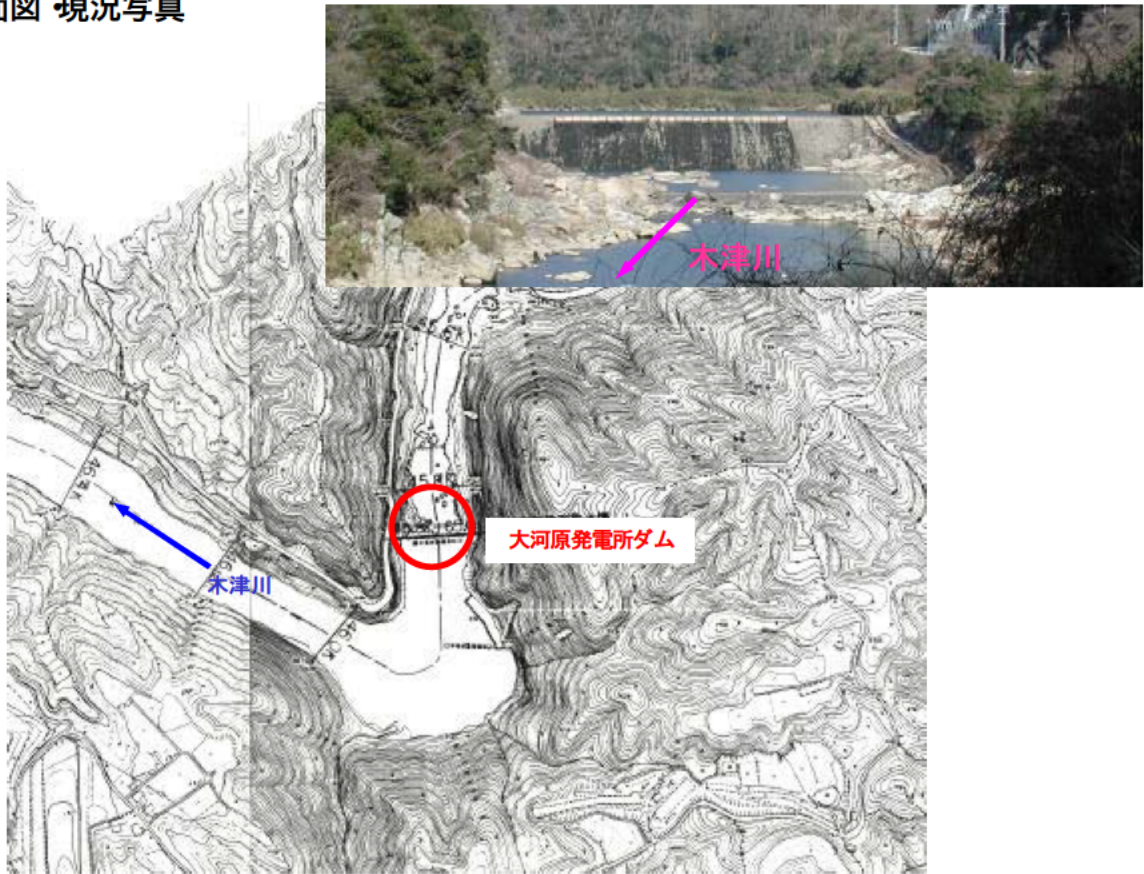


●具体的な整備内容
現状の井堰、落差工などにおける魚類の遡上・降下に配慮した構造改善の検討

●検討内容
 該当個所での河川環境の現況調査
 対象となる魚類、植物等の選定、生息環境の検討など)
 ・魚類の移動・分布からみた現況施設形状検討 (機能性、維持管理、将来予測等)
 施設管理者】関西電力

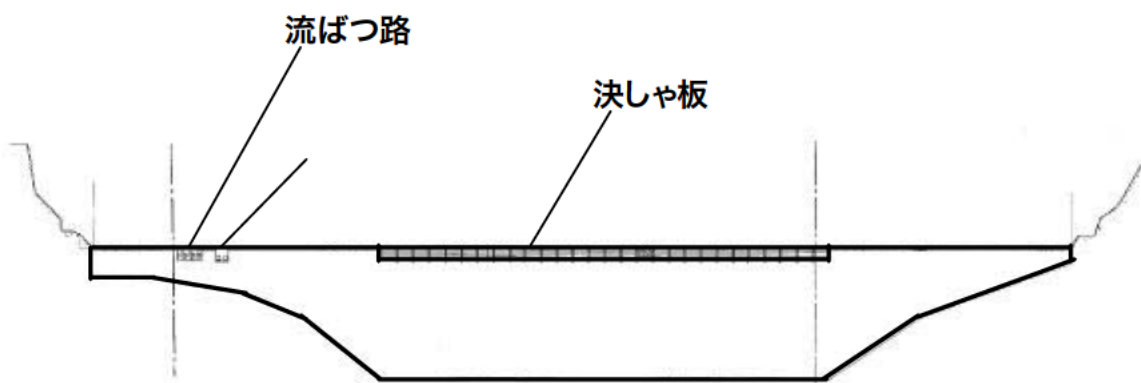


●平面図 現況写真



●横断図

魚道の有無	魚道の形状
有	落差0.3mの魚道がある。



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	37行目
事業名	縦断方向の河川形状の修復の 検討 (魚類の遡上・降下)		河川名	木津川上流 (木津川)		
府 県	京都府	市町村	笠置町	地先	上有市	

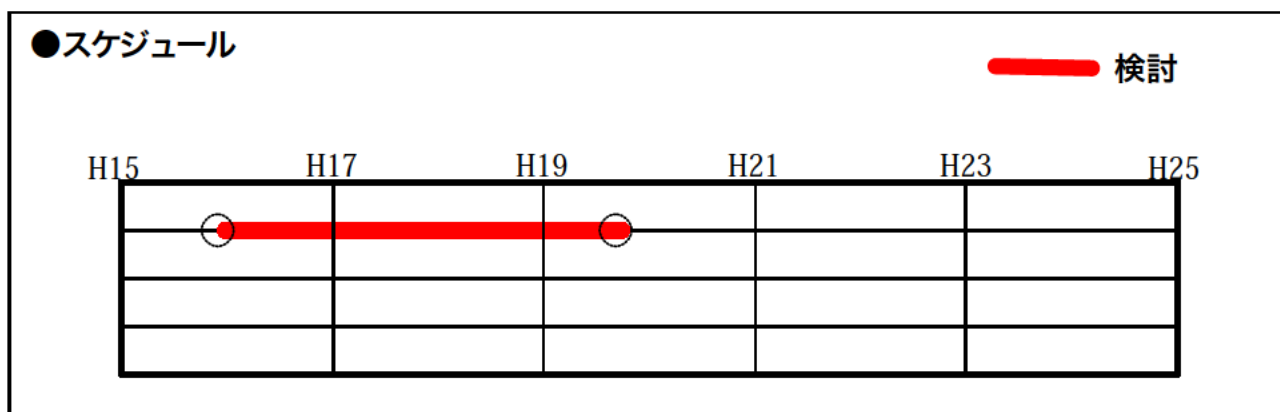
●現状の課題
ダム・堰等の横断工作物により縦断方向(山～川・湖～海)に不連続となっている。

●河川整備の方針
縦断方向においては、生物の遡上や降下が容易にできる河川横断工作物の改築・新設を検討する。

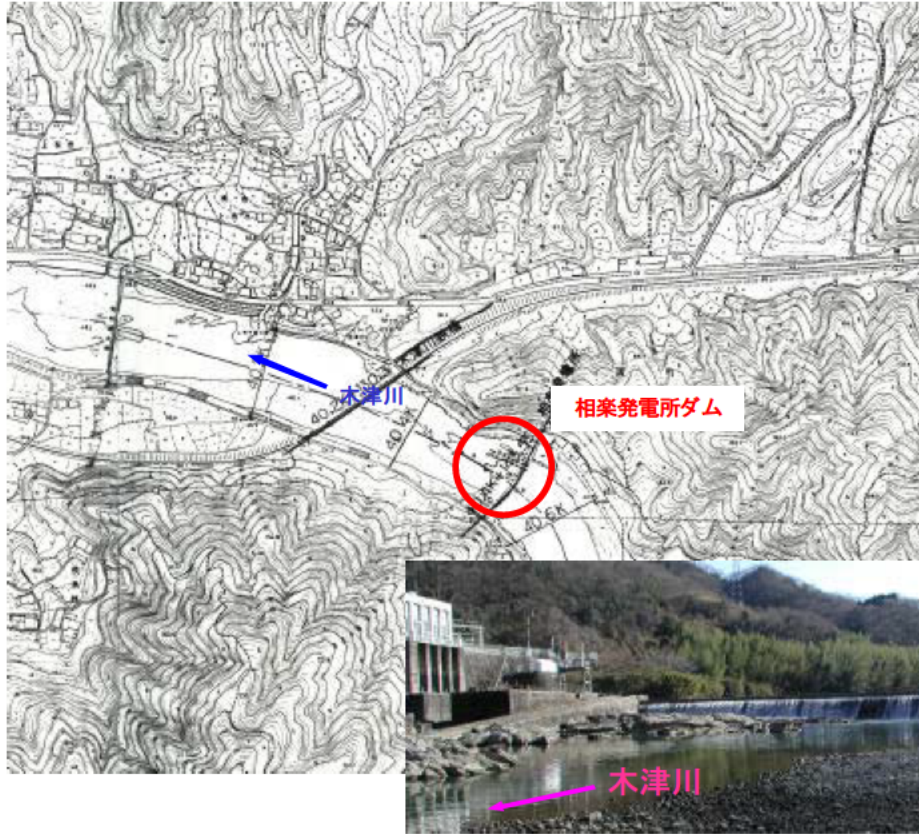


●具体的な整備内容
現状の井堰、落差工などにおける魚類の遡上・降下に配慮した構造改善の検討

●検討内容
 該当個所での河川環境の現況調査
 対象となる魚類、植物等の選定、生息環境の検討など)
 ・魚類の移動・分布からみた現況施設形状検討 (機能性、維持管理、将来予測等)
 施設管理者】関西電力

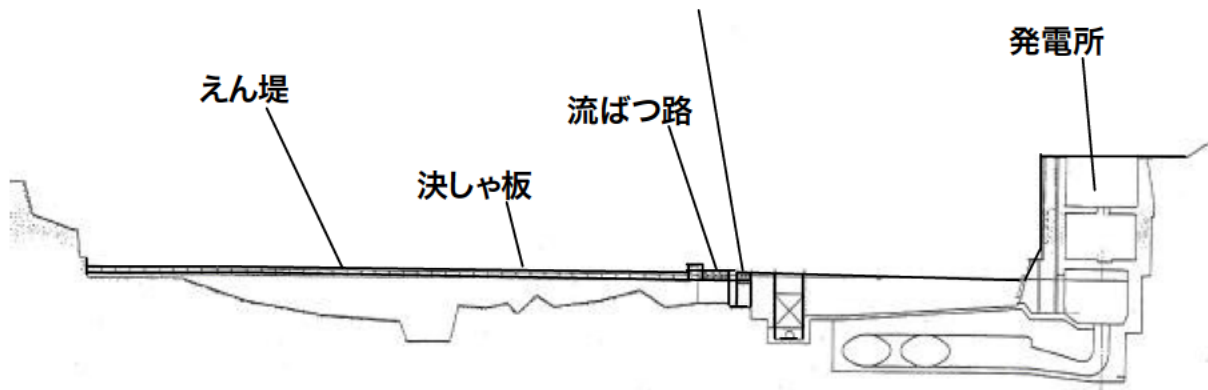


●平面図 現況写真



●横断図

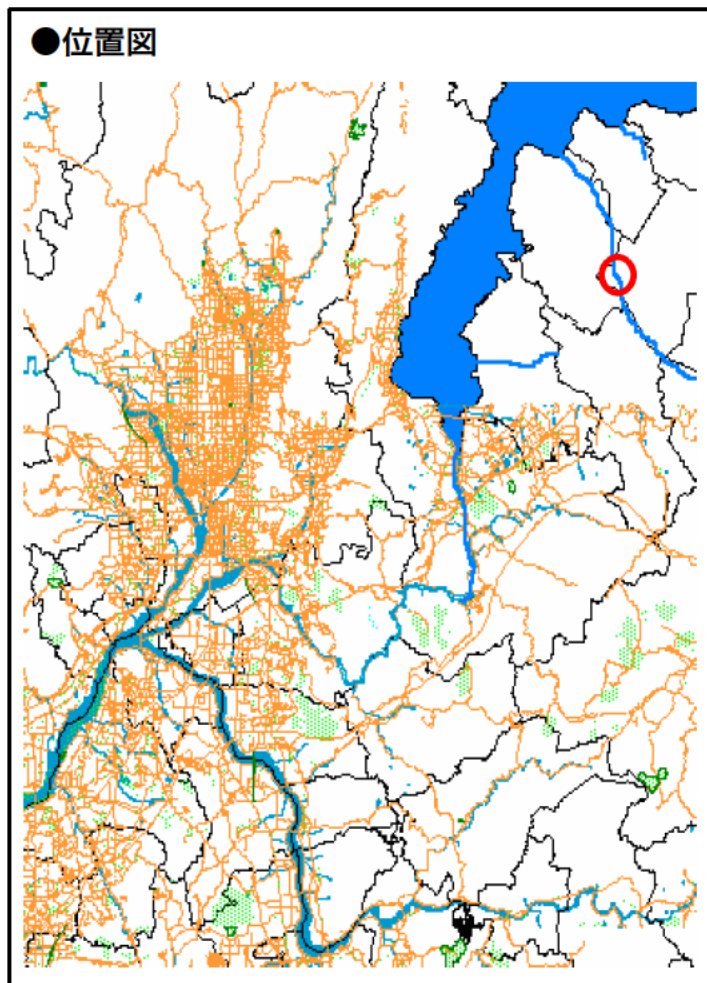
魚道の有無	魚道の形状
有	落差0.3mの魚道がある。



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.6	行	6行目
事業名	縦断方向の河川形状の修復の 検討 魚類の遡上 降下)		河川名	野洲川 落差工		
府 県	滋賀県	市町村	守山市	地先	小島	

●現状の課題
ダム・堰等の横断工作物により縦断方向
(山～川・湖～海) に不連続となっている。

●河川整備の方針
縦断方向においては、生物の遡上や降下
が容易にできる河川横断工作物の改築 新
設を検討する。



●具体的な整備内容
現状の井堰、落差工などにおける魚類
の遡上 降下に配慮した構造改善の検
討

●検討内容
下記条件を総合的に判断し、改築の
必要性について検討

- ①降下対策、集魚対策、呼び水の確保
- ②機能性 遡上性、管理性)
- ③落差工の改善上の問題
- ④景観 ⑤遡上の実績 ⑥経済性

●スケジュール

— 検討

H15	H17	H19	H21	H23	H25
●		●			

●現況写真



●構造図

